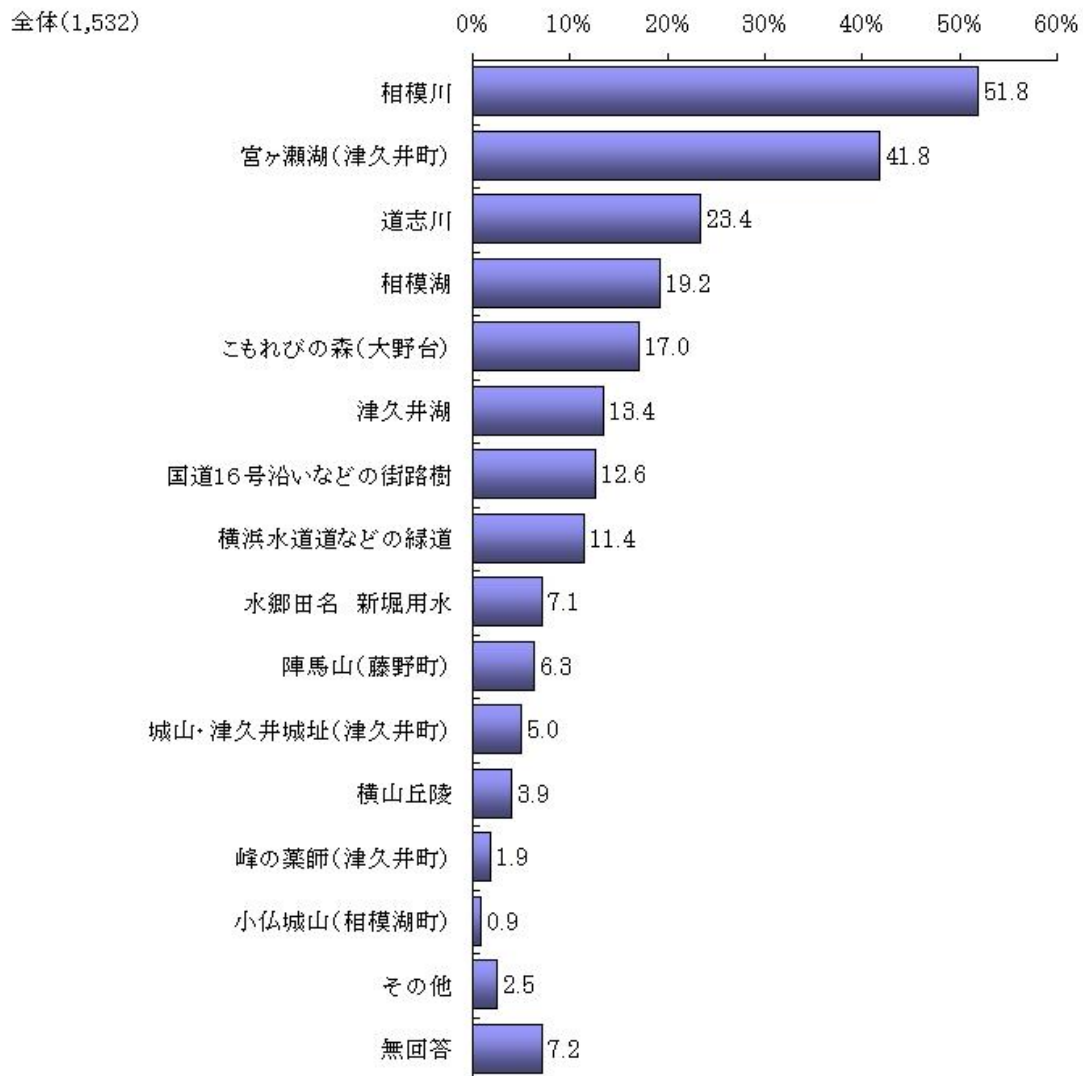
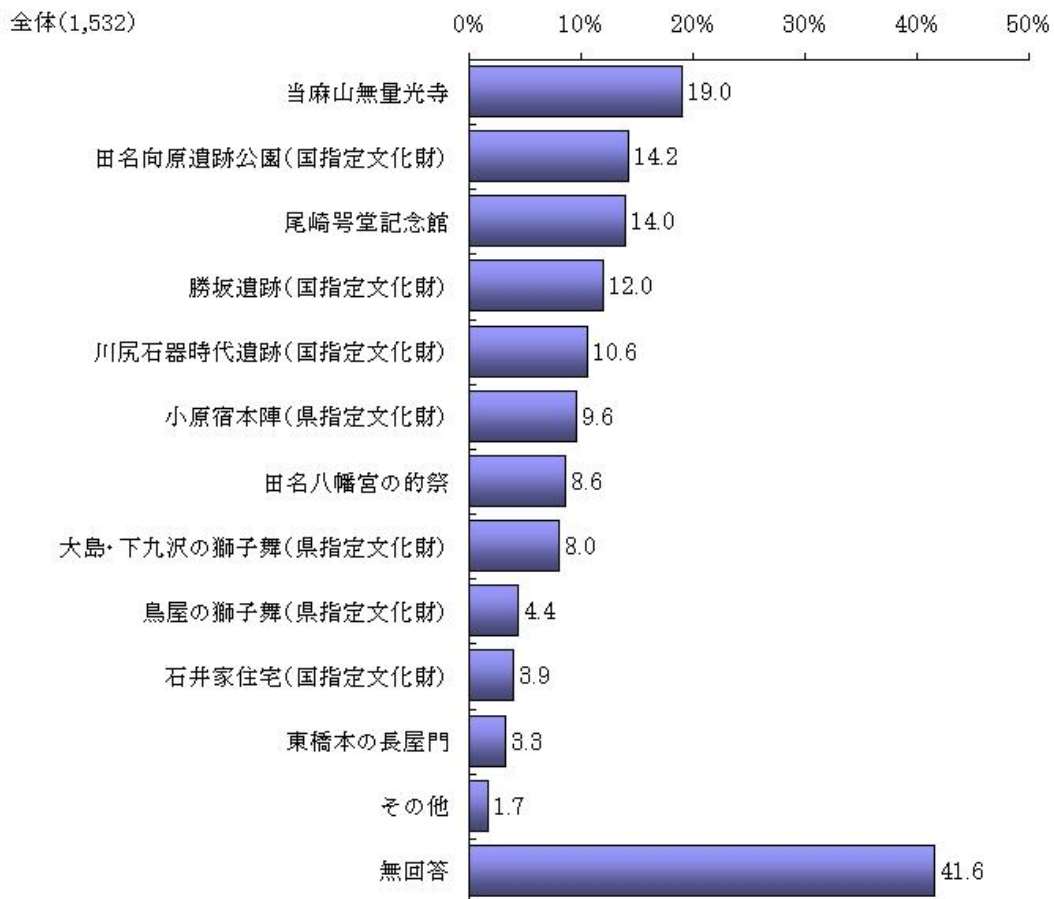


相模原市世論調査

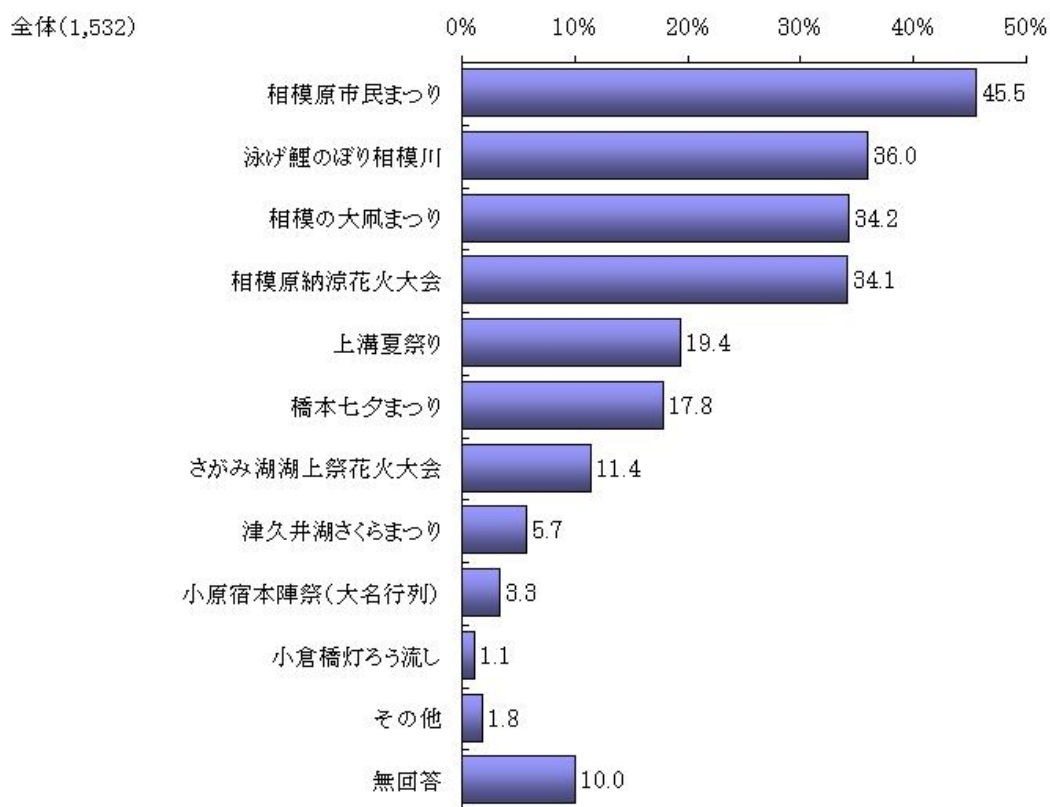
誇れる、魅力がある「自然」について聞いた結果、最も多かったのは、「相模川」(51.8%)、次いで、「宮ヶ瀬湖(津久井町)」(41.8%)、「道志川」(23.4%)、「相模湖」(19.2%)、「こもれびの森(大野台)」(17.0%)という順であった。



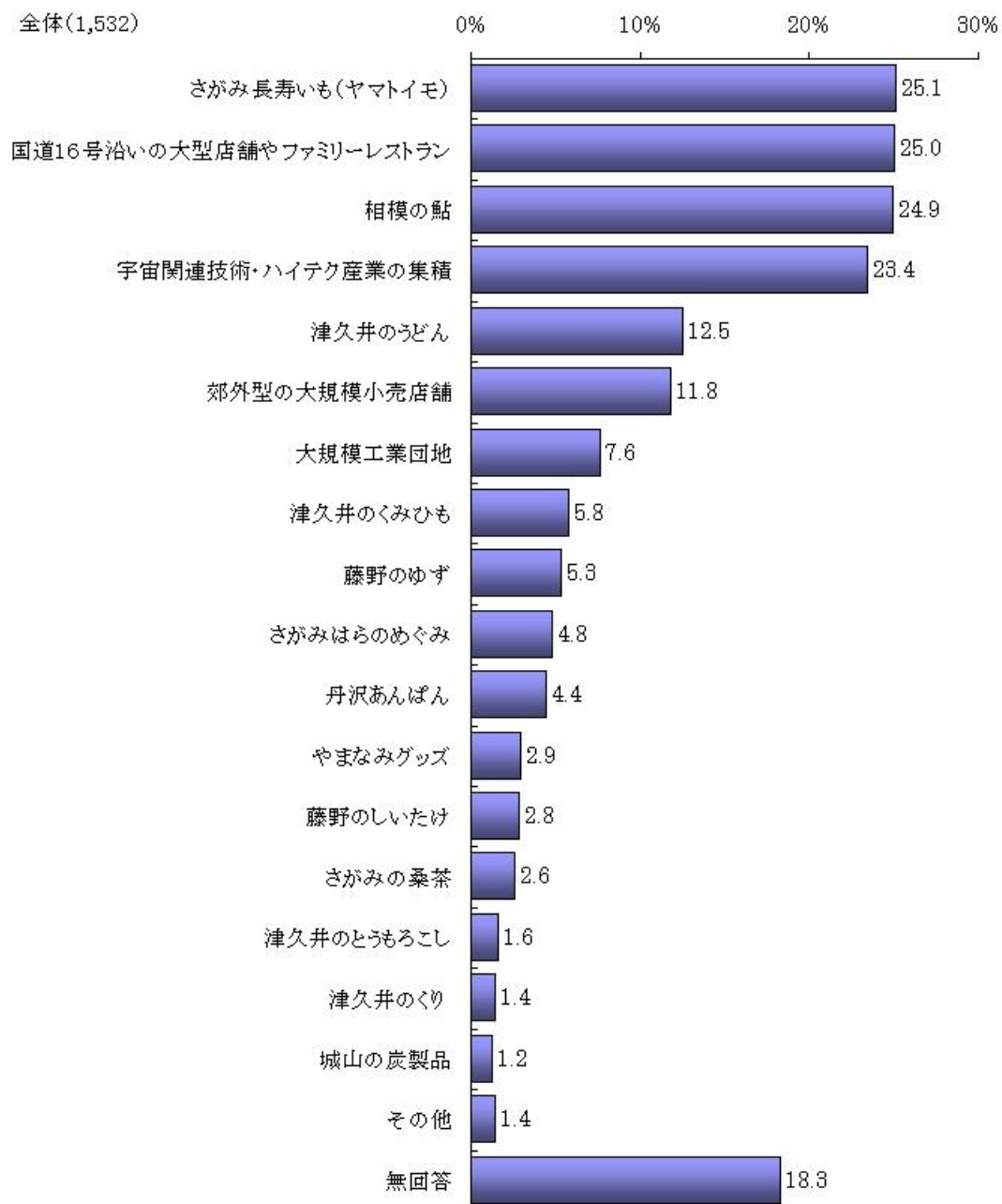
誇れる、魅力がある「歴史・文化」について聞いた結果、最も多かったのは、「当麻山無量光寺」(19.0%)、次いで、「田名向原遺跡公園(国指定文化財)」(14.2%)、「尾崎号堂記念館」(14.0%)、「勝坂遺跡(国指定文化財)」(12.0%)、「川尻石器時代遺跡(国指定文化財)」(10.6%)という順であった。



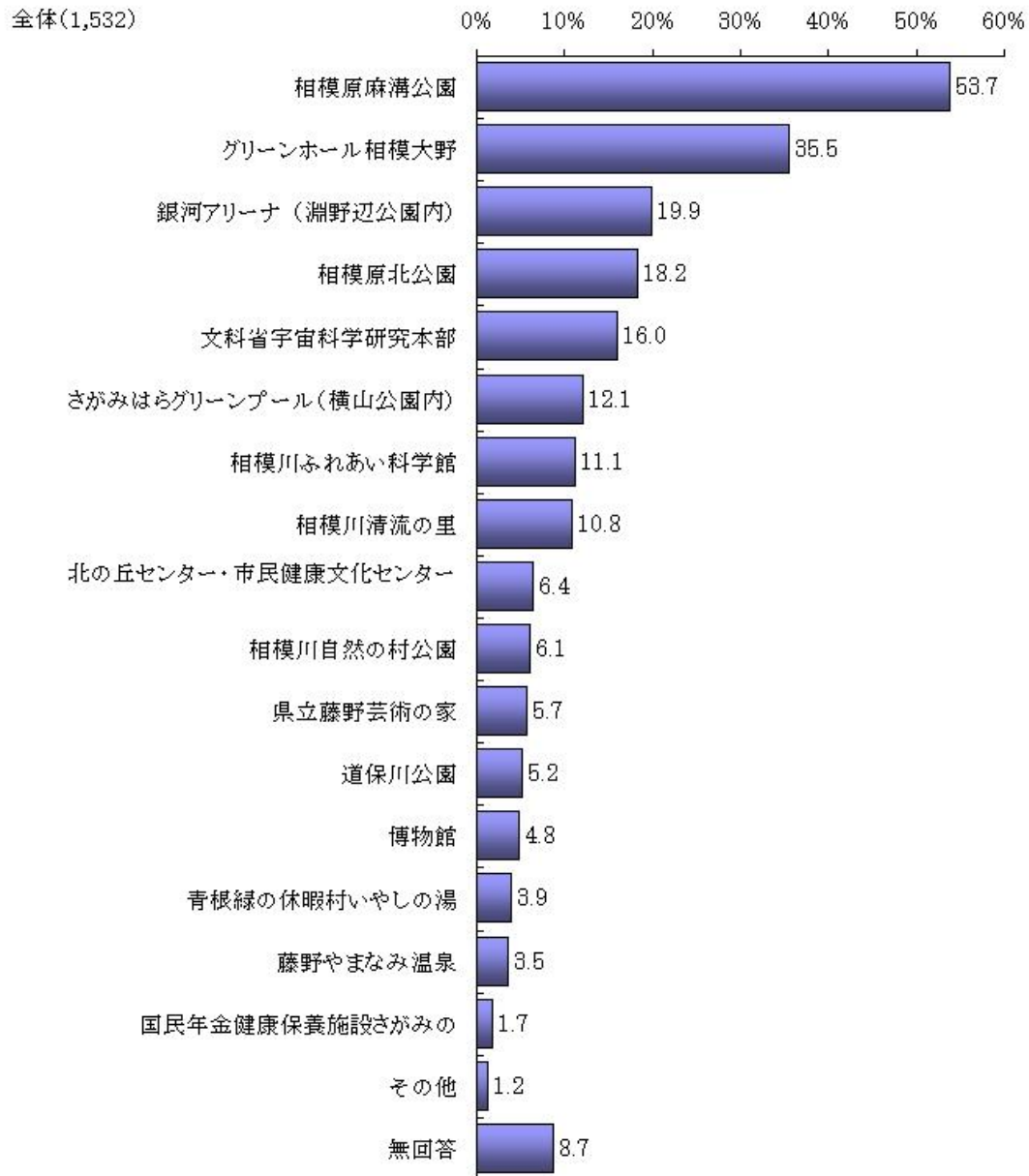
誇れる、魅力がある「まつり・イベント」について聞いた結果、最も多かったのは、「相模原市民まつり」(45.5%)、次いで、「泳げ鯉のぼり相模川」(36.0%)、「相模の大凧まつり」(34.2%)、「相模原納涼花火大会」(34.1%)、「上溝夏祭り」(19.4%)という順であった。



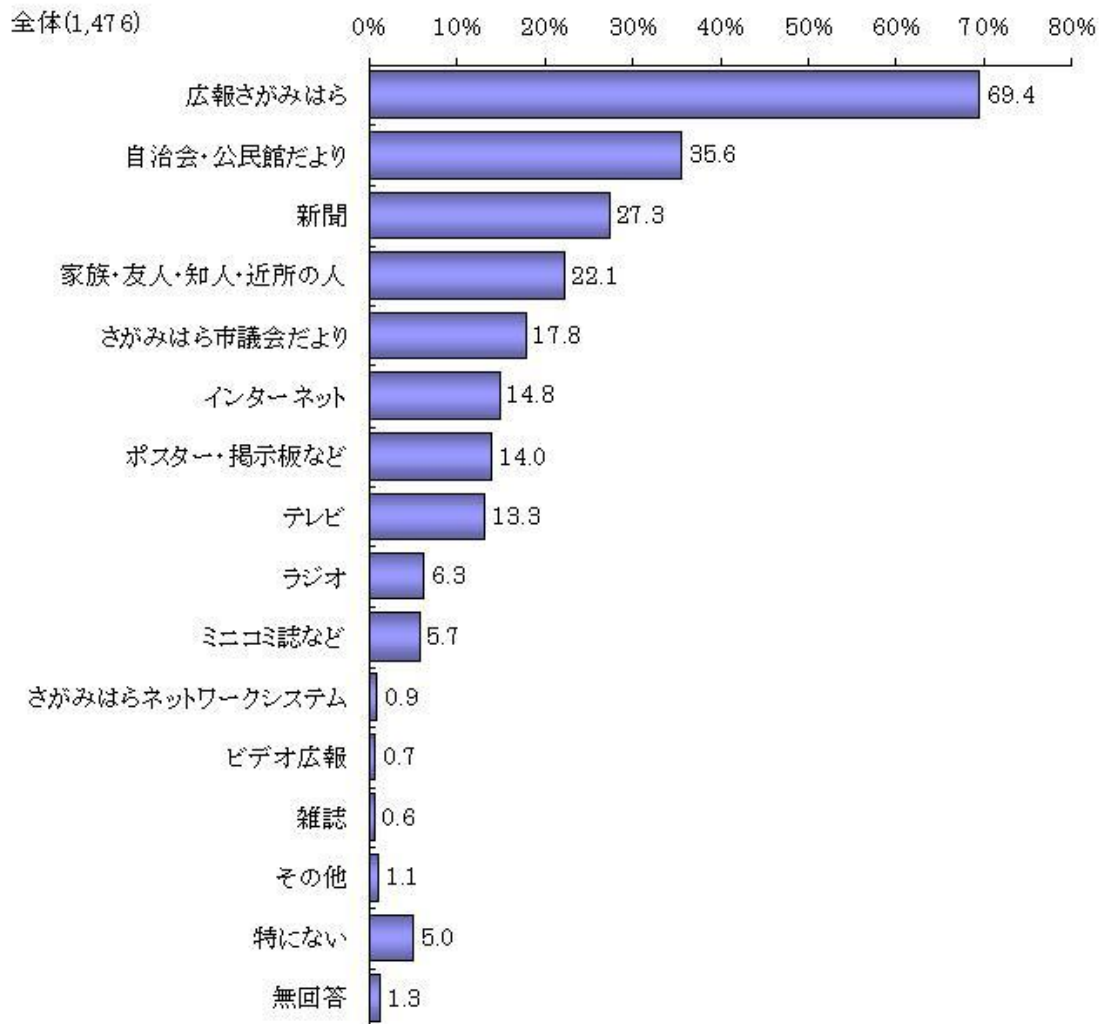
誇れる「産業・特産物」、魅力がある「産業・特産物」について聞いた結果、最も多かったのは、「さがみ長寿いも(ヤマトイモ)」(25.1%)、次いで、「国道16号沿いの大型店舗やファミリーレストラン」(25.0%)、「相模の鮎」(24.9%)、「宇宙関連技術・ハイテク産業の集積」(23.4%)、「津久井のうどん」(12.5%)という順であった。



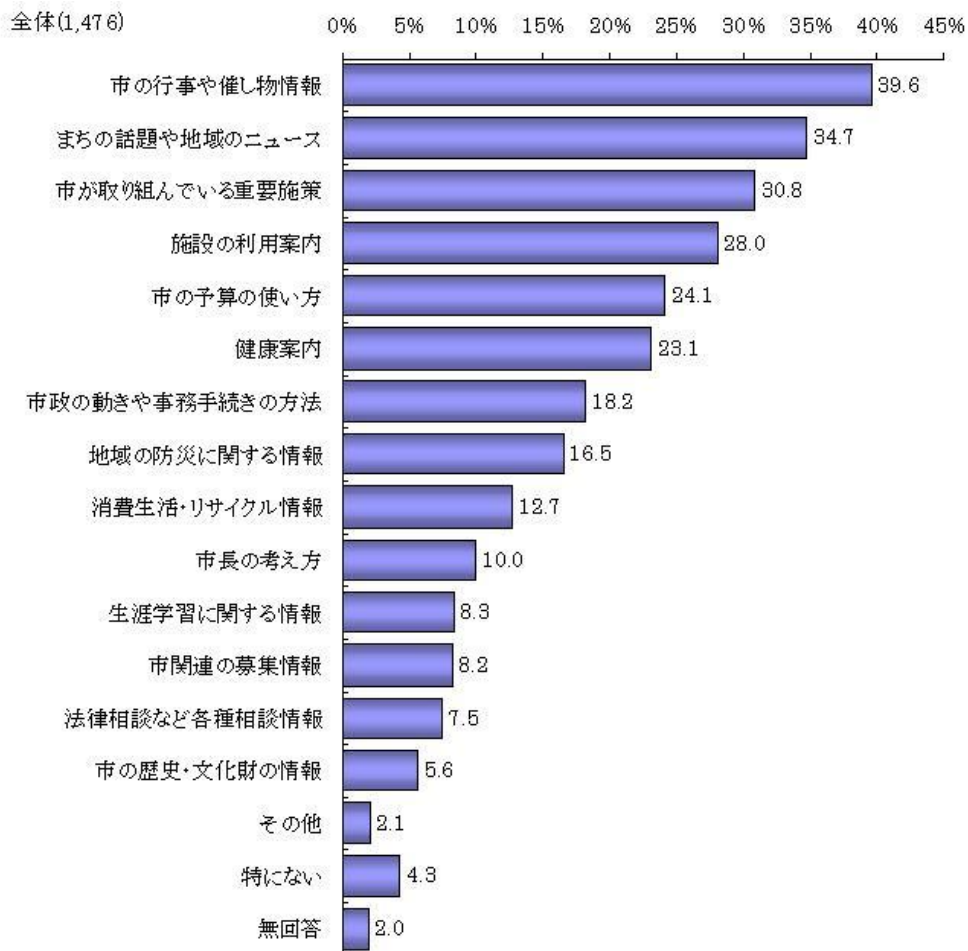
誇れる、魅力がある「施設」について聞いた結果、最も多かったのは、「相模原麻溝公園」(53.7%)、次いで、「グリーンホール相模大野」(35.5%)、「銀河アリーナ（淵野辺公園内）」(19.9%)、「相模原北公園」(18.2%)、「文科省宇宙科学研究本部」(16.0%)という順であった。



相模原市の情報の情報源を聞いた結果、最も多かったのは「広報さがみはら」(69.4%)であった。次いで、「自治会・公民館だより」(35.6%)、「新聞」(27.3%)、「家族・友人・知人・近所の人」(22.1%)、「さがみはら市議会だより」(17.8%)、「インターネット」(14.8%)となっている。



市政について知りたいことを聞いた結果、最も多かったのは「市の行事や催し物情報」(39.6%)であった。次いで、「まちの話題や地域のニュース」(34.7%)、「市が取り組んでいる重要施策」(30.8%)、「施設の利用案内」(28.0%)、「市の予算の使い方」(24.1%)、「健康案内」(23.1%)となっている。



新相模原市として、今後最も力を入れて発信したら良いものについて聞いた結果、最も多かったのは、「自然」(38.3%)、次いで、「施設」(18.1%)、「まつり・イベント」(11.5%)、「分からない」(11.5%)、「産業・特産物」(11.4%)という順であった。



『広報さがみはら』の閲覧状況を聞いた結果は、「よく読んでいる」(22.6%)、「おおざっぱに読んでいる」(49.1%)、「あまり読んでいない」(13.5%)、「知っているが全く読んでいない」(8.7%)、『広報さがみはら』を知らない」(5.2%)であった。「おおざっぱに読んでいる」が約半数を占めている。

